



継続と改革



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住 所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

環境月間

第 3371 回例会	No.34	2024. 04. 03	雨
点鐘・国歌・ロータリーソング	18 時 30 分	「国歌」 「奉仕の理想」	
ロータリーの目的		竹井崇利 君	
例会行事		観桜会	

会長時間

皆さんは明治のお菓子というか飴のチェルシーをご存じでしょうか？ 私も小さい頃はよく食べていましたが、今年の3月いっぱい出荷停止となりました。

森永製菓の「チョコフレック」はすでに販売が終わり、明治の「カール」は東日本での販売をやめています。ロングセラーのお菓子がここ数年の間に販売低迷を理由に相次いで姿を消しています。

今日はその理由についての推察です。チェルシーを惜しむ声は多く、カールは今も販売している関西などで土産に買う人が大勢います。販売低迷は消費者の好みの変化だけが原因とは言えません。それなのになぜか？ 大きな背景には、コンビニエンスストアの販売戦略があるといえます。菓子販売の拠点、昔は駄菓子屋で、その後スーパーに移り、今はコンビニが主力です。コンビニは全国に5万店超あり、メーカーはそこに商品を置きたい。しかし、最近のコンビニの菓子売り場には、コンビニが自社開発した「プライベートブランド」(PB)ばかり目立っています。

明治や森永などが作る「ナショナルブランド」(NB)は少なくなっています。コンビニは店が小さいので商品を厳選せざるを得ません。その中でPBを増やしているのでNBの比率は当然下がります。この約15年でその流れは強まり、コンビニでは今、NBは一部のトップブランドしか見られません。ロングセラーでもコンビニに置いていなければ消費者の目に届かず販売は増えません。販売停止に追い込まれた菓子の多くがこの流れで販売不振に陥った可能性があります。

コンビニがPBを増やすのは利益を上げるためです。コンビニは今、たばこの売上げが全体の4分の1です。増税で値上げが続いたためですが、たばこの利益率は10%強に過ぎず、ほかで、利益を取る必要があります。

菓子の場合、NBを販売した際の利益率は通常、30～35%程度なのに対し、PBは50%程度とされます。PB重視はコンビニが生き残るために必要な戦略なのです。しかし、PBばかりでは売り場は楽しくありません。客離れにつながる恐れがあり、現状はその局面に入りつつあるように感じられます。この状況が続けば、メーカーは結局、コンビニ向けなどのPBを作るしかなくなります。PBの場合、小売り側が基本商品を買って取ってくれるので、売れ残った際返品リスクはありません。メーカーにとって悪い話ではないように見えますが、決して良くもありません。

コンビニの下請けとなり、開発力を失う可能性があるからです。そうなれば菓子の種類が減り、消費者の選択肢は狭まります。日本の菓子は多彩で、品質も味もよく、だからこそ訪日外国人が大量に購入しています。世界に誇れる武器を失いかねません。これらのようにチェルシーの出荷停止の理由は推察されますが、ただ単に私たちが昔から知っている味が消えてしまうことには一抹の寂しさを感じざるを得ませんね。

幹事報告

1. 国際ロータリー日本事務局財団室より「財団室 NSWS 2024 年 4 月号」が届いております。
2. 地区事務所より、令和 6 年能登半島地震 支援報告が届いております。

スマイル

齊藤篤史君 遅刻してしまったのでスマイルいたします、以後気を付けます。
石灘寛樹君 観桜会やすみませす。オークション用のお金をスマイルします。
榎木田大資君 今月4月24日で創業50周年を迎えます。弊社の番組「てげ接待」で大物ゲストを呼んでロケが終了しました。4/24、5/1 2週連続でMRTさんで20時からOAしますので見て下さい。

例会行事

観桜会



井野畑君ちの桜



築瀬エレクトの乾杯



ちょっと寂しい観桜会



オークションの品々



齊藤ノミニーのメ



よーおパン



皆でにっこり記念写真

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	30	7 (3)	27	18	1	8	19	70.37%
出席免除	落丸、清水、渡邊							
先取MU	峰松							
欠 席	甲斐、菊池、豊田、中山、西島、花盛、日高、村社							



事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。